

議会だより

ひだか

第127号

平成23年10月25日

地震だ！逃げる！
比井小学校避難訓練

徴収率アップを	22年度決算	2P
防災関連	一般質問	6P
震災被災地視察	委員会レポート	10P

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp

22年度決算認定

100%をめざせ 税・料の徴収率

一般会計歳出決算 38億5,175万円
特別会計歳出決算 13億2,935万円

主な特別会計歳出決算額

国民健康保険特別会計	2億6,471万円
下水道事業特別会計	3億2,017万円
介護保険特別会計	5億8,110万円
後期高齢者医療特別会計	1億5,845万円

水道事業会計

営業収益・営業外収益から営業費用・営業外費用を引くと
 1,211万5千円の黒字決算である。

給水戸数	3,231戸	(36戸の増加)
給水人口	7,814人	(26人の増加)
年間総給水量	80万649t	(6,792tの増加)

平成23年度第3回定例会は9月13日から21日まで9日間の会期で開催した。
 今定例会では平成22年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算を認定。
 平成23年度関係、議案7件、報告1件が提案され、慎重審議の結果、原案のとおり可決した。
 また、任期満了にともなう選挙管理委員会委員の選挙をおこなった。

監査委員の意見

審査の意見

決算の財政事情を見る時、依然として依存財源に頼る財政事情には変わりない中、地方交付税の増額による要因はあるものの、経常収支比率が高い状態が続くことが懸念される。

今後、厳しい財政状況が続くことが予想される中で、第5次長期総合計画に基づき、快適で安全・安心な住環境整備に努めるとともに、住民福祉の向上に寄与されるよう望むものである。

予算執行について

予算は目的をもって計上し執行するものであるが、不用額が生じているものも見受けられた。

当初の目的を達成すべく、最大限の努力を望むものである。

温泉館の運営について

入館者数が、年々減少傾向にある中で、温泉館検討委員会が設置され、種々検討されているところであるが、温泉館の経営健全化に向け、同委員会の活動に期待する。

下水道事業について

下水道事業のより効率的、かつ安定的な運営を図るためには、接続率の向上は不可欠であり、なお一層の努力を望むものである。

22年度決算質疑

一般会計

修理費が急に必要になった。

問 保健福祉総合センター費、修繕費で予算よりも増額、流用がされているが、この理由は。

住民福祉課長 需用費の修繕費は、ブラインドの修理、雨漏り、ろ過器、コンセント、電動弁と、

問 雨漏りについても修繕をしたとの報告だが、先日の台風でも若干の雨漏りがあったと言っ話だが現況は。

住民福祉課長 雨漏りしている。早急に調査し、修理したい。



保健福祉総合センター

問 町税の未収未済額の件数、現状はどうなっているか。

税務課長 現年分37名39件、滞納分で41名66件計78名105件で、滞納者が固定化してる状況である。

問 保育所の収入未済額、今後の見通しは。

住民福祉課長 保育料の収入未済額は46万2800円。

内訳は、現年分で3名、19万4000円、滞納分で1名、26万8800円となっており現在7月に11万円納入されている。

お米代1万4950円。内訳は、現年分が2名で7150円、滞納分で1名、7800円。

おやつ代で滞納分1名、7400円となっており、現在も残っている。

問 徴税費、地方税回収機構負担金が113万9千円、この移管をした件数、それから回収をした税額、その他、実績は。
税務課長 回収機構への移管件数は10件で、内容

は、本税部分で477万7822円、督促手数料で1万59950円。

延滞金は移管時点の金額で186万5150円、計665万8922円。

22年度中に回収した実績は、本税124万4949円、督促手数料で1万2973円、延滞金で61万8300円、計187万6222円。

移管10件中、完納2件、一部納付6件、未回収2件となっている。

問 商工費の商工総務費委託料、地域商品インターネットウェブサイト委託、この成果は。
産業建設課長 現在、インターネット販売を開始し、5件の販売実

績である。

問 上志賀地区の緩衝帯の整備事業の成果は。

産業建設課長 数字的には表せないが、以前より有害鳥獣が見なくなった

と言う声もあり、隠れている場所も少なくなっている。被害もある程度抑止出来たと思っっている。



緩衝帯

効果が期待される緩衝帯（上志賀地区）

特別会計

国民健康保険

問 収入未済額に関して、短期保険証と資格証明書
の発行状況は。

税務課長 平成23年6月
末で資格証明書7世帯、
短期保険証で4世帯であ
る。

問 電算改修委託料を他
の予算から流用によりお
こなった理由は。

健康推進課長 被保険者
証・減額認定書など印字
できるように改修した費
用である。

流用により行った事は、
問題があると思っている。
今後はこのようなこと
のないように取り組む。

ている所が見受けられる。
届け出、指導はどのよ
うにしているか。

上下水道課長 基本的に
エリア内は、接続するよ
うに話している。

合併浄化槽の設置につ
いては、あくまでも個人
負担であり、補助金は出
ないと言ったことは話して
いる。

条例での縛りが
ない中では、選択
という形になる
が、加入者の率を
上げて行くと言っ
ることが、処理場や
維持管理から考え
ても必要だ。
今後努力して
いく。

下水道

問 農業集落排水
の接続率が非常に
低い。

接続率の伸びな
い理由は。
上下水道課長 海
岸筋の人口減少ま
た家庭の事情等様
々な理由はあると
思うが、計画的に
各家庭を訪問しな
がら、少しでも早
い接続に向けて取
り組んでいく。

問 農業集落排水
エリア内でありな
がら、新規に合併
浄化槽が設置され



下水道接続工事現場

選挙管理委員

次の方々に決まりました



池田 天裕氏 (池田)



方杭 勲氏 (方杭)



原谷 正興氏 (原谷)



上志賀 正氏 (上志賀)

選挙管理委員補充員

西岡 達人 (萩原)
嶋田 敏 (志賀)

崎山 純司 (萩原)
清原 久和 (阿尾)

第3次日高町国土利用計画

総合的かつ長期的視点に立って、生活環境と自然環境の調和を図りつつ、町土の均衡ある発展を目指し、土地行政の指針とするもの。

問 第2次計画と大きく違う点は。

総務政策課長 基本的条件変化では、「土地利用効率の低下」「総合的な町土地利用の重要性の高まり」をあげている。課題として「低未利用地の有効活用や耕作放棄

地の適切な利用」「広域に配慮した町土地利用、多様な主体による町土管理への参加促進」をあげている。

問 計画策定にかかった費用は。

総務政策課長 冊子の印



特定利用斜面事業採択が望まれる阿尾地区

刷200部を含め、367万5千円である。

問 予算と同額での支払いとなっているが、随意契約か。

総務政策課長 長期総合計画策定時に同時に見積もりをとり、契約をした。

問 廃棄物の適正な処理をおこなうための用地確保を図るとは。

総務政策課長 本年4月、バイオマスタウン構想の認定を受けた。

下水汚泥処理に取り組みたいと考え、構想の中に入れていく。その用地の選定等を進めている。

問 防災上のオープンスペース確保計画とは。

総務政策課長 耕作放棄地等をかさ上げしてオープンスペースを設けられないか。また、阿尾地区での斜面の事業などに取り組んでいる。

23年度補正予算 一般会計

既定の予算額に1億277万1千円を追加し、37億8953万円とする。

主な内容は、身体障害者福祉費として24時間安心コールセンター事業負担金26万3千円、内原保育所駐車場造成工事571万6千円、ため池ハザードマップ作成委託料441万円、小規模土地改良事業費1991万円、里山環境保全事業委託料1426万6千円、避難路整備工事費298万3千円の増額等。



ため池ハザードマップの作成が急務

問 避難路の整備工事は、既存の道の整備か。

総務政策課長 柏地区は地元負担はあるのか。

標高20mの神社への避難路転落防止柵設置、境内のコンクリート舗装100m、お寺の石垣補修。田杭地区は、農道67mのコンクリート舗装。阿尾地区とも地元負担はない。

量の大きな池を対象とし、12カ所のため池について作成する。

問 町村の魅力を訴えるイベントとは。

産業建設課長 12月に東京駅で全国町村会が主催するイベントである。

全国の町村それぞれがもっている物産や観光資源などを持ち寄り、首都圏の住民にアピールするイベントで、干物や黒竹等、当町の物産品をPRする。

問 ため池ハザードマップの作成とは。

産業建設課長 背後地の民家が密集している貯水

未来をきずく

Q & A いっばん質問

防災対策の強化を

栄 茂美 議員

町長 町民の迅速な避難行動を



問 防災士資格取得の推進を再度要求する。
町長 防災士資格取得に、きのくに防災人づくり塾の受講方法があり、その受講啓発に取り組む。

問 大地震が起これば、一人一人が海拔20m以上の一時避難場所に移動する為にも、標高地図・沿岸部からの距離表示地図の作成が必要と思うが。

町長 海拔表示板を町内全域に増設し、沿岸部からの距離表示も加える検討をする。

問 産湯海水浴客が車で通る道沿いの「津波避難」誘導看板が、足下に小さく、帰り道しか見えないのは問題があり改善すべきである。

町長 地元関係者と協議し検討する。

問 広域大災害



給水容器6リットル用

後3日間、町民が生き延びるための飲料水の確保と、十分な給水容器はあるのか。

町長 配水池に緊急遮断弁を設置し、大きい揺れを感じると弁が閉鎖し、タンク内の水道水を貯留できるよう対策を講じており、また手動式浄水装置は、町内7地区に配備している。

給水容器は、現在1200個用意しているが、全世帯配布できるよう検討している。

問 遠隔地バックアップについて、バックアップデータが保管できるようになつた場合は、「被災者支援システム」の導入を考えているのか。

町長 災害

時の危機管理に有効であることから、導入に向け、県内市町とともに取り組んでいく。

保育内容の充実を望む

問 保育内容充実のための民間委託の早期実現を。

町長 民間委託に向けては、保護者の方々の同意が最優先であり、最も重要であると考えており、現状での課題・問題点、また民間に委託した場合の課題・問題点について精査しているところである。

問 保護者の方々のために、早期実現を強く望む。速やかに精査結果を公表すべきである。

問 町内一斉防災訓練の実施を、再度要求する。
町長 現状の活動を継続実施していく。

町長 今いろいろと調査しているところである。いろいろな意見を聞き、検討を重ね、ある程度方向性が出た時点で、議会の皆様に改めて相談したい。

他の質問

- ・町内7ヶ所の交通便利と安全対策
- ・町内2ヶ所における近隣住民の住環境保護対策を問う
- ・高料金の町水道水の検討



町内各地に設置予定の海拔表示板

山本 源昭 議員

町長 補正予算計上している 海拔表示板の早期設置を



導、児童生徒の安全確保であり、保護者が単独で迎えに来た場合、安全確認が出来るまで留め置く対応を考えている。

一時避難場所と海拔は、中学校16m、保健福祉センター25m、内原小は12m、萩原跨線橋広場25m、志賀小14m、学校南側高台27m、比井小4m、津久野県道28mとなっている。

町長 保育所では、園児の避難誘導が最優先で行い、安全が確認されるまで一時避難場所です留まる計画である。

内原保育所70m、志賀保育所県道南側空き地で18m、比井保育所は津久野県道待避所で25mである。

町長 こういう事を決めておいても、保護者との理解度を深める以外にはない。

町長 保護者と話し合う計画はあるのか。

町長 9月27日、比井小学校で、計画している。

町長 子供に教える事が、

成長するにつけ、身に付く事になっていく。
1回で終わらないで、重ねて徹底をお願いしたい。

人間ドック検診事業の継続を

町長 本年4月から人間ドック検診事業が町単独でも継続実施された。募集を行ったところ、1日ドックで47名、2日ドックで36名となり、抽選の結果、1日ドックで40名、2日ドックで25名の方が当選となった。

来年度も継続を望みたいが、自己負担金を増額してでも受診希望者の意に添える方法を考えてはと思うが、町長の考えを伺いたい。

町長 来年度も継続実施したいが、事業予算は保険税で賄うこととなる。

国民健康保険運営協議会の意見を聞き決定したい。

町長 海岸地区には、自主防災組織が設立されている。
町が決めるのではなく地域の住民が、高台の避難地点を認識する必要がある。
保育所や小・中学校ではどうか。
教員長 下校時まで地震等発生した場合、避難誘

西岡 佳奈子 議員

避難訓練の状況は

教育長 小中学校で年間2~3回予定



被災した釜石市立鶺住居小学校

問 議会では、「釜石の奇跡」と伝えられている釜石市の釜石東中学校、鶺住居（うのすまい）小学校の現地を見てきた。日ごろの取り組みの結果、避難した小中学生約570名全員が助かって

いる。
当町の小中学校での避難訓練の状況は。
教育長 小中学校において年2~3回の避難訓練を予定している。日ごろの訓練が生かされるよう、今後も訓練の

実施を指導していきたい。
問 「想定にとらわれぬ。最善を尽くす。率先して避難する。」これが津波避難三原則といわれる。
防災教育・訓練の中で徹底すべきだと思うが。

教育長 教職員一人丸となり、地域の人の協力を得ながら機会あることに避難訓練を実施するよう指示していきたい。
問 保育所の避難訓練は。
町長 保育所では毎月、火災もしくは地震時の避難訓練をおこなっている。

問 現状の職員体制は十分か。
町長 今の体制で対応できる。職員一致団結して取り組むよう指導している。

問 現状の職員体制は十分か。
町長 今の体制で対応できる。職員一致団結して取り組むよう指導している。

問 保育所の避難訓練は。
町長 保育所では毎月、火災もしくは地震時の避難訓練をおこなっている。

問 現状の職員体制は十分か。
町長 今の体制で対応できる。職員一致団結して取り組むよう指導している。

志賀小地震被害

問 7月5日の地震では、志賀小学校体育館で地震による被害があった。何が問題だったのか。他の施設では同様の問題は無いのか。
教育長 平成9年度に実施した耐震診断では、基準をクリアしていた。今回、天井部の鉄骨を支える基礎に上塗りをされているモルタルが一部破損し落下した。夏休み中に修繕を終えている。

学校へのエアコンはいつ

問 学校へのエアコン設置はいつになるか。
町長 早期に設置したいという思いだが、財源の確保が優先されることから設置にはいたっていない。設置費用や維持管理面等、十分な調査研究と検討を重ね、有効な財源確保を模索していきたい。

問 志賀小地震被害
7月5日の地震では、志賀小学校体育館で地震による被害があった。何が問題だったのか。他の施設では同様の問題は無いのか。
教育長 平成9年度に実施した耐震診断では、基準をクリアしていた。今回、天井部の鉄骨を支える基礎に上塗りをされているモルタルが一部破損し落下した。夏休み中に修繕を終えている。

問 学校へのエアコン設置はいつになるか。
町長 早期に設置したいという思いだが、財源の確保が優先されることから設置にはいたっていない。設置費用や維持管理面等、十分な調査研究と検討を重ね、有効な財源確保を模索していきたい。

問 志賀小地震被害
7月5日の地震では、志賀小学校体育館で地震による被害があった。何が問題だったのか。他の施設では同様の問題は無いのか。
教育長 平成9年度に実施した耐震診断では、基準をクリアしていた。今回、天井部の鉄骨を支える基礎に上塗りをされているモルタルが一部破損し落下した。夏休み中に修繕を終えている。

問 学校へのエアコン設置はいつになるか。
町長 早期に設置したいという思いだが、財源の確保が優先されることから設置にはいたっていない。設置費用や維持管理面等、十分な調査研究と検討を重ね、有効な財源確保を模索していきたい。

問 志賀小地震被害
7月5日の地震では、志賀小学校体育館で地震による被害があった。何が問題だったのか。他の施設では同様の問題は無いのか。
教育長 平成9年度に実施した耐震診断では、基準をクリアしていた。今回、天井部の鉄骨を支える基礎に上塗りをされているモルタルが一部破損し落下した。夏休み中に修繕を終えている。

問 学校へのエアコン設置はいつになるか。
町長 早期に設置したいという思いだが、財源の確保が優先されることから設置にはいたっていない。設置費用や維持管理面等、十分な調査研究と検討を重ね、有効な財源確保を模索していきたい。

問 志賀小地震被害
7月5日の地震では、志賀小学校体育館で地震による被害があった。何が問題だったのか。他の施設では同様の問題は無いのか。
教育長 平成9年度に実施した耐震診断では、基準をクリアしていた。今回、天井部の鉄骨を支える基礎に上塗りをされているモルタルが一部破損し落下した。夏休み中に修繕を終えている。

問 学校へのエアコン設置はいつになるか。
町長 早期に設置したいという思いだが、財源の確保が優先されることから設置にはいたっていない。設置費用や維持管理面等、十分な調査研究と検討を重ね、有効な財源確保を模索していきたい。

問 志賀小地震被害
7月5日の地震では、志賀小学校体育館で地震による被害があった。何が問題だったのか。他の施設では同様の問題は無いのか。
教育長 平成9年度に実施した耐震診断では、基準をクリアしていた。今回、天井部の鉄骨を支える基礎に上塗りをされているモルタルが一部破損し落下した。夏休み中に修繕を終えている。

問 学校へのエアコン設置はいつになるか。
町長 早期に設置したいという思いだが、財源の確保が優先されることから設置にはいたっていない。設置費用や維持管理面等、十分な調査研究と検討を重ね、有効な財源確保を模索していきたい。

議会の動き

温泉館検討特別委員会

温泉館検討特別委員会は、今後の温泉館運営について検討をおこなっている。
 経費削減や入湯客を増やすための方策、施設の管理運営面での見直しや改善方法等々について、「みちしおの湯」現地視察や、兵庫県朝来市への視察研修などおこないながら、各種提案や検討を続けている。



あさご 朝来市役所にて



指定管理方式でおこなわれている「奥香の湯」



みちしおの湯

台風12号被害に 義援金とボランティア

9月の台風12号による豪雨は、紀伊半島に大きな被害をもたらしました。日高町議会議員は日高川町へ10万円、和歌山県義援金口座に10万円を送りました。また9月22日、議員有志により、日高川町公営住宅や農地の泥だしボランティアをおこないました。



住宅の泥だし
(みそぎ 三十木地内)



農地の泥だし (和佐地内)

委員会レポート

常任委員会委員長報告

はじめに、この度の台風12号の豪雨により、犠

牲になられた多くの方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

総務・産業商
常任委員会は、
去る7月25日
26日の2日簡岩
手県陸前高田市
と釜石市、宮城
県名取市で東日
本大震災の被災
状況を元岩手県
議会議員の小野
寺有一氏の案内
で視察した。

は、4〜5mの堤防があ
ったが、市役所が3階ま
で浸水し2割を超える職
員が犠牲になるなど、津
波の到達した所の木造住

宅は全部流されている。

犠牲になられた方々は、
逃げなかった人、戻った
人、誰かを助けに行った
人たちであった。

堤防があるから大丈夫
だと油断した人が多かつ
たようである。

釜石市では、湾口防波
堤があり、被害は2階ま
まで済んだが、やや高台
にある市役所は地下室に
津波が浸水し、そこにあ
った電源・通信・コンピ
ューターのサーバーなど
が使用不能となり行政機
能がストップしている。

鵜住居(うのすまい)
地区の小・中学校は3階
建校舎であるが3階まで
被災、発災当初、小・中
学校は3階に避難するが、
中学生はいち早く校舎を
出て山手の高台に避難を
始める。

その行動を見た小学校
も中学生に続き高台に避
難、両校の判断が良かった
ので、生徒・教師の全



いち早く避難、全員が助かった鵜住居小学校

員が助かった。
いずれも学校独自の判
断であった。

一方、この地区の幼稚
園は、教育委員会に電話
で指示を仰ぐものの電話
が通じず、指示を受けら
れず独自の判断も出来ず
に被災し犠牲者を出した。

鵜住居地区防災センタ
ー(2階施設)では、
150〜200名の避難
者がいたが、2階の天井
まで浸水したため26名だ

けの生存者であった。

そこは、釜石市指定の
避難所ではなかったが、
地区の防災訓練では、地
区独自で避難所として訓
練をしていたため、住民
の殆どが安全だと思ひ避
難して被災した。

以上の内容は、視察し
た中の一部である。
9月1日に産業教育常
任委員会を9月5日には
総務福祉常任委員会を開
催し、今後、発生が予想

される東海・東南海・
南海地震に備え、日高
町の防災計画のあり方
等について協議を行っ
た。

まず、今までのハザ
ードマップでは駄目で
あることは誰もが認め
るところであり、早急
に見直す必要がある。
(後になって「想定外
の大津波が来た」では
駄目である)

また、今から巨防
波堤建設の計画を立て
たところで時間的にも、
予算的にも間に合わない

いかも知れない、今我々
に出来ることは、町民の
命を守ることに、そのため
には、いち早く安全に津
波の到達しない高台に避
難が出来るよう避難路の
整備や避難場所の確保を
早急に行うことである。

国や県の指示を待つ
のではなく、町独自の防
災・減災の取り組みを強め
るべきであり、町民一人
一人の防災意識を高める
ための取り組みも急務で
ある。



陸前高田市で小野寺さんの説明を聞く



全員で犠牲者に黙祷（陸前高田市役所）



4階まで津波が到達した（陸前高田市雇用促進住宅）



急傾斜の上まで津波が押しよせた
（釜石市両石町）



壊滅的被害の陸前高田市役所一階フロア

それから、災害が起きた後のことについても事前に対策を立てておくことも必要であり、避難所が十分確保できるか、また仮設住宅の建設予定地や瓦礫の集積所の確保などを計画しておく必要がある。

瓦礫の撤去作業においては、釜石市では地元業者への発注にこだわったことで撤去作業が遅れているという話もあったが、災害時の地元業者との提携の必要性と同時に、速やかな復旧のための取り組みについて十分な計画を立てる必要がある。

以上のことは、委員会全員一致の意見であり、町に対して強く提言するものである。

最後に、この度の震災での多くの犠牲者のご冥福と、被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。委員長報告と致します。

東日本大震災被災地を訪れて



港のあらゆる建物を壊し、岸壁に乗り上げた6175トンの貨物船（釜石港）



津波は堤防と水門を乗り越えた（釜石市）



防潮堤が津波で倒されている（釜石市）

編集後記

9月の台風12号による紀伊半島豪雨で、甚大な被害が県下に発生しました。

近隣の日高川町も大変な被害を受けました。心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興をご祈念しております。

私たち日高町議会議員も、9月議会閉会後の翌日、ボランティア有志として泥出し作業に参加しました。

慣れない力仕事で、どこまでお役に立ったのかわかりませんが、皆で一生懸命お手伝いさせて頂きました。

皆で力を合わせ、この苦境を乗り越えていきましょう。

栄 茂美



積み上げられているがれき（釜石市）

